

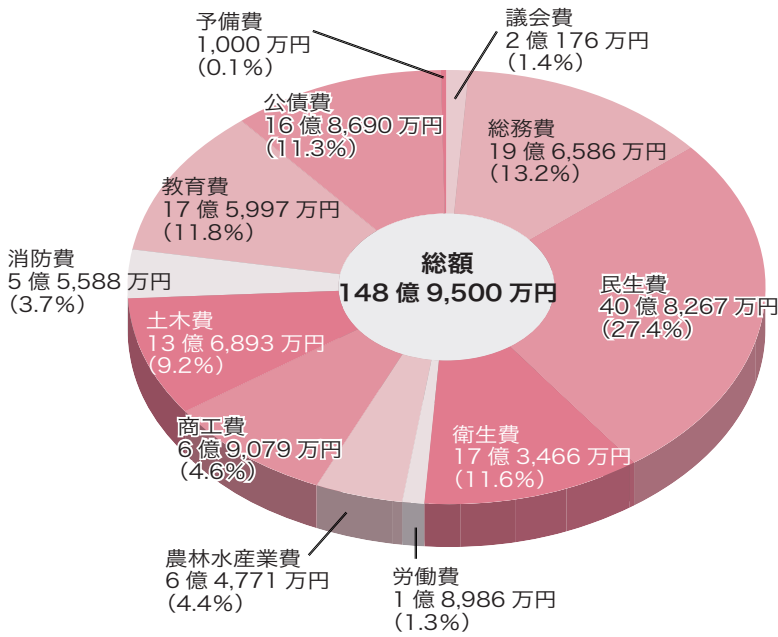
特集

防災や賑わい創出などに重点を置いた

平成25年度当初予算を可決

主要なお金の使い道

【一般会計予算 歳出割合】



総務費

- ▼防災や交通、地域づくりなどの支出
- ▼防災行政無線の整備
- ▼地域生活路線バス運行対策
- ▼北陸新幹線建設の促進活動(新)
- ▼いとこ小浜づくり協働推進

民生費

- ▼児童や高齢者、障がい者の福祉などの支出
- ▼0歳から中学生までの医療費の助成
- ▼一時保育や夜間保育の充実
- ▼児童クラブの設置
- ▼発達障がい者への理解を進める事業(新)

農林水産業費

- ▼農業、林業、水産業の振興などの支出



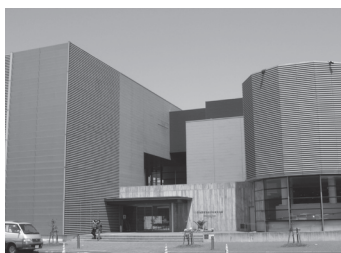
- ▼おいしい福井米の生産体制の支援
- ▼六次産業への支援や周知(新)
- ▼新規就農促進と担い手の経営発展の基盤構築(新)

衛生費

- ▼健康や環境、ごみ処理

商工費

- ▼予防接種への助成
- ▼不妊治療への助成
- ▼小浜平野の地下水調査(新)
- ▼仏谷最終処分場跡地の環境整備(新)



【食文化館】

- ▼観光事業や商工の振興などの支出
- ▼食文化館のミュージアム強化や観光動態調査

土木費

- ▼蘇洞門の栈橋補修(新)
- ▼プレミアム商品券の発行への補助(新)
- ▼企業誘致に対する助成

教育費

- ▼道路、河川の整備や維持管理などの支出
- ▼小浜縦貫線の調査(新)
- ▼市営住宅の改修
- ▼学校教育、社会教育などの支出
- ▼東部地区の小学校建設推進
- ▼今富公民館建設
- ▼中学校の耐震化推進
- ▼小浜 西組の魅力アップ事業(新)

地下水調査の目的は？

【問】一般会計当初予算に小浜平野地下水調査に1493万円計上されているが、その目的や必要性は。

【答】小浜市の地下水の利用可能な水量を把握するための調査である。今後の浄水場の規模あるいは建設時期をどのように設定するかを見極めるため、具体的、科学的なデータが必要になり、市民に説明するためにも必要な調査である。



【市内を流れる北川】

【問】名水百選に入るような地下水がある小浜市の水質調査をする必要があるのか。

【答】水がきれい、汚いというレベルではなく、硫酸イオンや炭酸イオンなどの分布を調べることによって、地下水の流れを把握し、小浜市の地下水の三次元モデルを作り上げていくために必要な調査のひとつである。

【意見】調査結果を踏まえて、水道ビジョンの見直しをするべきである。

【意見】水資源の安定供給や水質確保、安価に提供することを市民は望んでいるため、それに応えるためにも結果ありきの調査ではなく、公平な調査をしていただき、誰でも納得できる答えが出てくるような調査をお願いしたい。

東部地区小学校建設に1075万円

【問】東部地区小学校の用地の状況は。

【答】歴史民族資料館裏

から小浜縦貫線までの広いゾーンまで決まっているが、現在最終の詰めを行っている。

小浜縦貫線の測量設計業務委託に4700万円

【説明】いづみ町を含む大手町から広峰までの幅3案を提示。

【問】議会への図面の提示が遅いのは。

【答】住吉・酒井間が先に整備されたことで、接続差点のずれが生じ、協議しているが、まだ解決には至っていないため。

【意見】交差点のずれが激しい部分については是正すべきである。

【意見】費用対効果をもっと考えるべきである。



【いづみ町】

北陸新幹線建設促進事業に48万円

【問】北陸新幹線若狭ルートと琵琶湖若狭湾快速鉄道の両方を実現することは難しいと思われるが、北陸新幹線を真剣に取り組むのなら、快速鉄道をどうするか結論を出すべきではないか。

【答】第5次総合計画では両方推進するとしており、現市長は両方に取り組んでいく考えである。

自主防災活動組織への補助拡大

【問】平成24年度は半額補助で上限1万円だったが25年度は。

【答】半額補助はそのままで、防災訓練や防災マップ作製にも補助し、

自主防災組織の加入世帯によって2万円から7万円と段階をつける予定。

総合防災訓練の実施

【問】時期や内容は。

【答】時期は8月30日から9月5日までの防災週間での実施を考えている。内容については、食文化館前をメイン会場とし、地区によって津波、水害、原子力災害を想定した訓練を予定している。



討論

(議会の会議において、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明すること)

◆議案 11号 平成 25 年度一般会計予算 (反対討論)

水道水源開発施設整備事業 1,950 万円は河内川ダム建設負担金であり、給水人口が減少している中で、ダムに依存した水道水源開発施設整備事業は時代に逆行している。また、小浜平野地下水調査の結果、地下水が確保できた場合の判断について明確な返答がなく、今後、浄水場建設に進んでいくと市民に大きな負担になることから反対。

結果・・・賛成 15 反対 2 で可決

◆議案第 20 号 平成 25 年度水道事業会計予算 (反対討論)

河内川ダム負担金が 1 億 1,739 万 2000 円含まれている。ダム建設は水道料金の値上げにつながるから反対。

結果・・・賛成 15 反対 2 で可決

補正予算・条例審査で こんなことを聞きました

予算決算常任委員会 (3月補正予算)

庁舎1階に個別相談室を設置

【問】相談室を設置することになった経緯は。

【答】現在、相談室は社会福祉課の中の1室しかなく、非常時には他の部屋を利用してはいたが、音漏れなどの心配があった。庁舎の有効利用として現在使われていない旧食堂部分に防音効果のある相談室2室と書庫を設置することになった。

間伐材魚礁設置に6000万円

【問】間伐材魚礁の製作費、設置費、設置場所は。

【答】1基当たり製作費が80万円、設置費は6万7000円、設置場所は、若狭湾沖の2か所である。

【問】全国で同じような

産業教育常任委員会

◆議案33号農業集落排水処理施設の設置および管理に関する条例の一部改正について

【説明】口名田、中名田の農業集落排水処理施設の人数割料金を600円から800円に値上げする条例の改正

【問】地区によって非常に差があるので、公共料金の公平性の観点から、少しでも改善の方向へ持っていくってほしいが、その辺の見解は？

【答】1つの単独の組合では料金改定をしても運営がとて追いつかないような流れが将来的に発生する可能性はある。11組合全体の農業集落排水特別会計でプールするような経営を考えていかなければならない。

◆地域主権一括法に伴う条例の制定や改正

【問】地域主権一括法の施行により、条例の制定

や改正が多くあるが、市としてこの地域主権一括法をどのようにとらえ、これからどのような方針でやっていくのか。

【答】現在のところ、市独自の基準は設けがたいところがある。しかし、これらの条例のもとに計画、設計していくので、少しでも独自で、また財政事情を配慮した基準を設けていきたい。

総務民生常任委員会

◆陳情1号 郵便局窓口営業について意見書を求める陳情書

【説明】過疎地の郵便局を隔日営業や半日営業とすることに反対する陳情。

【意見】民営化された企業に対してものを言える状況ではないが、総務省に指導してもらう形になると思う。地方の議会だからこそ意見書を出さなければならぬ。



小浜市議会基本条例元年の年！

～小浜市議会がモデルチェンジ～

行政ニーズは、社会の進展とともに、高度化、多様化しています。
また、地域主権一括法の成立などにより、わたしたち地方自治体の責任は大きく、重くなる一方で、議会改革が急がれています。このような流れの中、小浜市議会は「市民とともに歩む議会」をキーワードに、小浜市議会基本条例を4月1日から施行し、新たな一步を歩みだしました。

議会基本条例って何？



議会基本条例は、議会の最高規範として議会が担うべき役割を果たすために必要な基本的事項を定めた条例です。議会の役割や市民との関係を明らかにし、議会のあるべき姿や議会と議員の責務を定め、「市民とともに歩む議会」を文章化したものです。

主な内容は次のとおりです



議会報告会を開催します！

議会としての説明責任を果たすため、地域に出向き、議会の報告会や意見交換会を開催し、市民の皆様のお聞きします。

情報を公開します！

透明性のある開かれた議会を目指すため、本会議や委員会の会議内容などをあらゆるメディアを使って皆様にお伝えします。

徹底した議論を行います！

理事者への質問だけでなく、議員同士で自由闊達かつたつに行う「自由討議」を軸に、政策討論会や委員会審査などでしっかりした議論を行います。

市民の意見を生かします！

議会報告会や意見交換会でお聞きした市民の皆様からの貴重なご意見は、政策討論会などの議論や議会の政策立案、政策提言に生かします。
特に、市民生活に直結する問題などは、公聴会制度や参考人制度を活用し、討議に市民のニーズを反映させます

逆質問も受けます！

一般質問では、議員からの提案などに対し、より議論を深めるため、市長等から逆質問（反問）ができるようになりました。